

第15回 団地再生シンポジウム

ーサステナブルなまちづくりー “広域での安定”と“エリアの活性化”

主催： 一般社団法人 団地再生支援協会 www.danchisaisei.org/
 神奈川県住宅供給公社 www.kanagawa-jk.or.jp/

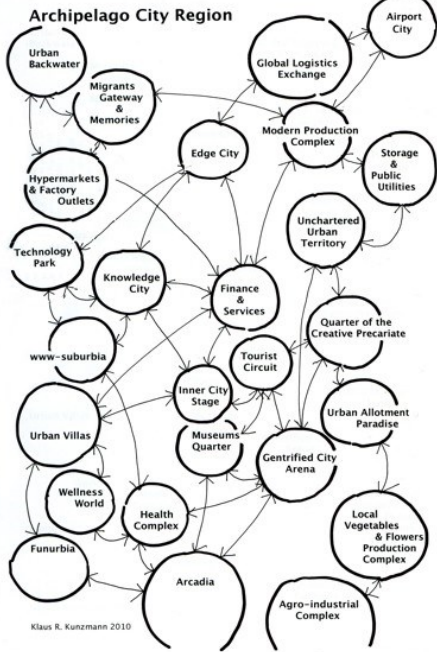
後援： (予定) (社)HEAD 研究会、(社)リノベーション協議会、国土交通省、UR 都市機構、NPO 法人日本都市計画家協会、日本建築士会連合会、公益社団法人東京自治研究センター

会場： Koshu33 ホール(神奈川県住宅供給公社 2 階)、横浜市中区日本大通 33 番地

参加： 定員 150 名

参加料： (資料代)2,000 円(学生 1,000 円)

用語： 日本語・英語(逐語訳、資料:和文英文併記)



The Healthy City: An Agenda for an Aging Society

生涯 || 賃貸×暮らしリノベーション

- 学生時代 浦賀 緑ヶ丘
- 新社会人 フロール横浜山手
- 新婚世帯 辻堂海岸 汐見台
- 子育て世帯 フロール新川崎
- 横浜若葉台
- 子ども独立後 二宮
- 二人世帯 相武台



ドイツ・NRW 州 IBA エムシャーパーク



神奈川県・横浜市・川崎市 ⇄ 東京圏

(会場案内図)



シンポジウム開催の主旨

県と横浜市、川崎市が出資し戦後まもなく発足した公社は、住宅や店舗・事務所、駐車場などの賃貸事業のほかにも高齢者住宅事業(ヴィンテージ・ヴィラ)も進める。現在保有する賃貸住宅約14,000戸のうち約7割が築40年超で修繕、建替え、集約化の他、新価値を加える再生例も多い。2012年に新体制になり、公社は利益を追求しつつ公共的事業も行う“社会的企業”と考えている。“所有から利用へ”と生活者の意識が変わる今の時代に、公社は保有住宅を「生涯賃貸」とすることで、急速な「少子化」、「高齢化」に対応し、“広域での安定”と“エリアの活性化”を同時に実現したいと考えている。

今回のシンポジウムは、2014年12月の「サステナブル社会のまちづくり国際シンポジウム」を継承するもの。都市計画家 K.クンツマン教授(ドイツ)および「近未来計画学」の谷口守筑波大教授の参加を得て“広域での安定”と“エリアの活性化”について展望する。

プログラム(予定):

13:30-13:35	開会の挨拶	井上 均	一社)団地再生支援協会
13:35-14:35	地域再生を考える	谷口守 筑波大教授	都市の成人病を防ぐという観点から 交通、生活サービス、コンパクトシティ
14:35-14:45	休憩		
14:45-15:45	ドイツの現状 ヘルシーシティ	K.クンツマン Prof. Uni-DO	西部ドイツ NRW 州の現状と近未来 高齢化社会政策:ヘルシーシティ
15:45-16:45	神奈川の戦略	猪股篤雄 公社理事長	神奈川県住宅供給公社の取組み 生涯賃貸 高齢者生活支援、国際化支援、エコ生活支援
16:45-17:30	総括討議	榊 奏将	一社)団地再生支援協会



谷口守氏



K.クンツマン氏



猪股篤雄氏

〇問合せ先 一社)団地再生支援協会: Tel: 03-5259-8420 info@danchisaisei.org

神奈川県住宅供給公社: Tel: 045-651-1842 info@kanagawa-jk.or.jp